

# やすらぎ

2025  
Vol. 23 

新病棟  
開院に  
あたり

特集



TOPICS | トピックス |

01 新たな病棟機能の紹介

02 専門外来の拡充

03 健診センター紹介

04 新たな医療機器の導入

05 新任医師紹介



## 新病棟開院にあたり

理事長・院長  
倉石 和明



当院は1962年に56床の精神科病院としてここ栗田の地に開院し、今年で63年目を迎えました。時代とともに多様化する患者様のニーズに応えられるよう、2023年4月1日より新病棟の建設を開始し、2025年2月1日に開院致しました。これもひとえに皆様方の一方ならぬご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。また地域の皆様におきましては、工事中は何かとご迷惑をお掛けしましたが、ご理解とご協力を頂きましたこと心より感謝申し上げます。

新病棟につきましては、総病床数はそのままに、新たな病棟機能として精神科救急急性期医療病棟、児童思春期病棟、認知症治療病棟の3病棟を設置したほか、残りの3病棟は既存棟と同様の精神一般病棟を2病棟、精神

療養病棟とし、病状・状態に合わせた専門的な医療を提供して参ります。

外来においてはこれまで、児童思春期・睡眠障害・認知症・アルコール依存症の専門外来を設け、専門的治療を行っておりましたが、今後は薬物依存症などその他の依存症治療や、軽度うつなどのストレスケアにも注力致します。一方でより多くの方に医療を提供できるよう診察室の増設を行うとともに、自動再来受付機、自動精算機を設置致しました。また、利便性向上のためATMを設置した他、カフェやコンビニを設け、従来以上に快適にご利用いただけるよう設備・体制を整えております。その他にも、新たにSPECT・MRI等検査機器を導入し、保険診療のみならず健診にも活用する事で、疾患の早期発見・早期治療に繋がります。

今後は、既存棟の改修を行い、リハビリテーション医療、退院後の在宅医療の提供に向け体制を整え、従来行ってきた精神医療・高齢者医療・予防医療と合わせた5本の柱として地域の皆様の心身の健康を支えるべく、より一層邁進して参ります。今後ともご支援、ご協力賜りますよう、宜しくお願い致します。

## 新病棟概要

### 1F Floor

#### 総合受付

外来患者さん・ご家族へのご案内や、お問い合わせ等について対応します。



総合受付

#### コンビニ

お菓子やパン、お弁当の他、入院生活に必要な日用品も取り扱っています。



コンビニ

#### その他エリア

歯科・小児歯科、ATM、調剤薬局があります。

#### アトリウム

入口を入ると、開放的かつ明るい空間が2階まで広がっています。



アトリウム

#### 外来フロア

診察室を増設し、待合・診察室前・カフェに電子掲示板を設置しています。受付時に発券した番号が表示されるため、待ち時間の調整が行いやすくなります。



総合待合

### 2F Floor

#### カフェ

電子掲示板を設置することで、会計待ち時間等にもご利用いただけます。



カフェ

#### 健診センター

8Pにて詳細を記載しています。

#### 検査フロア

9Pにて詳細を記載しています。

### 3F～8F 病棟 Floor

#### 精神科救急急性期医療病棟

#### 児童思春期病棟

#### 認知症治療病棟

3～6Pにて詳細を記載しています。

#### 精神科一般病棟

この病棟は、2病棟のうち一方を閉鎖病棟、もう一方を開放病棟とし、精神疾患のあらゆる症状に対して患者さんに合った治療を進めています。

#### 精神療養病棟

この病棟は、精神科の急性期の治療を終えて病状が安定した方、長期の療養が必要な方を対象とし、ゆったりと落ち着いて療養ができる環境を整えています。

### FLOOR GUIDE

8F	病棟 (60床)			
7F	病棟 (60床)			
6F	病棟 (60床)			
5F	病棟 (60床)			
4F	病棟 (48床)	体育館		特別養護老人ホーム
3F	病棟 (60床)			
2F	管理部門	カフェ アトリウム	検査フロア	健診センター
1F	管理部門	コンビニ	外来/歯科・小児歯科	管理部門
B1F	管理部門			

# 新たな 病棟機能の紹介

精神科救急急性期医療病棟

児童思春期病棟

認知症治療病棟



## 精神科救急急性期医療病棟

スーパー救急

精神科救急急性期医療病棟とは

精神科救急医療を中心的に担う病棟です。24時間365日体制で、病気になり始めの症状が不安定な方や、急激に症状が悪化して早期の治療が必要な方などを対象に受け入れています。病床の半数以上を個室とし、医師・看護師を手厚く配置することで、質の高い集中的な治療を行うことが可能です。入院から3ヵ月までの期間を目安として、患者さんが早期に元の生活に戻れるよう、多職種が連携して治療を提供します。病棟内には、休息が必要な方を対象としたストレスケアのためのエリアも設けています。

病棟機能の紹介

### 個室

病床の半数以上を占める個室にはいくつかの種類があり、患者さんの病状や治療段階に応じて使用します。一般の個室のほか、患者さんの安全確保を目的とした保護室（ハード・ソフト）、ストレスケアのための個室を設けています。いずれの病室もプライベートを確保し、患者さんが落ち着いて治療に集中できる環境を整えています。

### 保護室（ハード）

患者さんの中には、その病状から病識がない（自身の病状を正しく認識できない状態）方もおり、入院治療において行動の制限が必要な場合が生じます。そのような患者さんの安全確保と保護をはかるため、保護室にて隔離し行動制限を行います。行動制限は患者さんの病状に応じて期間が異なりますが、必要最小限の範囲内で適正に行います。保護室内の環境も工夫しており、採光、におい、壁の緩衝材、随時の観察が可能な設備など安全に配慮した設計となっています。

### 保護室（ソフト）

患者さんの病状により軽微な行動制限が必要な場合や、他の患者さんと入院生活を送ることが困難な場合において使用する病室です。通常時には、行動制限を緩和した個室としても使用します。また、エリアを区切るようにすることで、感染症対応での使用も可能となっています。こちらの保護室も良質な治療環境を整えるとともに、重点的な観察が可能な病室となっています。

## ストレスケアユニット

さらに良質な治療環境で療養していただくための病室です。通常の病室と同様の設備に加えて、電動ベッド・家具調床頭台もそれぞれに設置しており、機能性、快適性を備えた病室となっています。ご希望に応じて、テレビ・冷蔵庫も利用いただくことができます。こちらの病室はうつ病や産前産後うつなどの



ストレスケアユニット

の心療内科的な病状を有しておられる方のご利用も可能であり、休息的な入院にも対応しています。

## 多床室

最大4名入室できる居室です。カーテンでのプライバシーを確保して快適性を向上しています。ベッドサイドには鍵のかかる床頭台の設置や、点滴レール、部屋によっては酸素投与や吸引など身体合併症にも対応可能な設備を整えています。また、空調設備でのにおい対策や、床や壁の色も落ち着いた配色としており、快適な療養生活を送っていただけるよう工夫しています。ベッドは通常よりも低床のベッドを採用し、万が一の転落等による骨折等の事故を最大限防ぐことができるようにしています。



多床室

## 児童思春期病棟

児童思春期病棟とは

当院の児童思春期病棟は、主に20歳未満の患者さんを対象としています。思春期特有の心身の課題に対応するため、専門的なプログラムを提供しています。この時期は、身体の急激な成長やホルモンバランスの変化に加え、学校や家庭環境でのストレス、自己肯定感の低下など様々な問題（発達障害、不登校、統合失調症、うつ、ゲーム依存等）が生じやすい時期です。患者さん一人ひとりの状況に寄り添い、総合的なケアを行っています。



患者さんと一緒に作った作品です

主な治療プログラム

### ソーシャルスキルトレーニング (SST)



発達障害を持つ患者さんを対象に、対人コミュニケーション能力や問題解決力の向上を目指します。グループ形式や個別指導により、実生活で役立つスキルを身に付けていきます。

### 認知行動療法 (CBT)



不安や抑うつ、ストレスに悩む患者さんに、ネガティブな思考をポジティブに変える方法を学んでいただきます。リラクゼーション技法やストレス管理スキルの習得も含まれます。

### 家族療法



摂食障害や家庭内での問題を抱える患者さんのために、家族全体のコミュニケーションを改善させ、家族の協力体制を強化します。

### トラウマフォーカス型認知行動療法 (TF-CBT)



トラウマ体験を持つ患者さんが、安全な環境で記憶を整理し、症状の軽減を目指す治療法です。

これらのプログラムは、精神科医、看護師、公認心理師(臨床心理士)、作業療法士、精神保健福祉士の多職種がチームとなり提供しています。また、学校や家庭等の院内外とも連携し、患者さんの社会復帰や自立を目指して支援を行います。思春期の悩みに向き合う最適な治療環境を患者さんに合わせ提供できるように、ハード面、ソフト面とも専門性を高めていきます。

設備紹介

## 学習室

病棟内には学習室が設置されています。入院中は勉強がおろそかになりがちで、心配されている患者さんや保護者の方も多いかと思えます。当院では電子機器を用いる学習にも対応した、快適に学習ができる環境を整えています。



学習室

## 体育館

体育館を設置し、入院生活に不足しがちな運動やリハビリに使用します。また、デイケアの運動プログラムや病院のイベント、災害発生時にはトリアージを行う場所としての利用も想定しています。



体育館



## 認知症治療病棟

### 認知症治療病棟とは

精神症状および不穏や徘徊などの行動障害により、自宅や施設での生活を送ることが難しくなった認知症の方に対し、専門的な入院治療と手厚いケアを短期集中的に行う病棟です。

新たに導入したMRI・SPECT等の高度医療機器を用いて鑑別診断を行い、診断と検査により患者さん個々に合わせた治療計画が作成されます。それに基づいて、病棟専従の作業療法士や看護師、精神保健福祉士などの多職種が連携し、認知症症状の改善と進行抑制の治療を行っていきます。また、認知症の症状により低下した生活能力を改善するための「生活機能回復訓練」もあわせて行います。



## 生活機能回復訓練

この病棟において重要となる「生活機能回復訓練」について、具体的な内容は次の通りです。

### 朝

プログラムは「朝の会」から始まります。入院中の方がホールに集い、お茶を飲みながら、季節や日付、一日の予定を確認します。毎日の習慣として、健康増進のための体操を行います。人が集う場所・機会があるからこそ、そのための着替えをし、身なりを整え、笑顔で挨拶をします。この「身支度」も、プログラムの大事な要素です。

### 昼

その後は昼食の時間になります。ホールは食堂の装いになります。食事プログラムの一環で、個々の状態に合わせた配膳と働きかけが行われます。食事前には口腔体操、食後には口腔ケアが行われます。

### 午後

午後は作業療法、認知症リハビリテーション、音楽療法、アロマセラピー、回想法などのプログラムが行われます。それぞれの興味関心や目的により、適切なプログラムが選べるよう週間予定が組まれています。リハビリテーションに関しては、院内に勤務している理学療法士や言語聴覚士が個別に関わる機会もあります。これらの「生活機能回復訓練」は、一日に合計4時間、週5回行われます。看護師、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理師などの多職種が、それぞれの専門性を発揮しプログラムを展開しています。また、定期的にケースカンファレンスや家族面談を行い、退院後の生活に向けた取り組みも行います。患者さん本人の声を聞き、家族の意向をふまえ、スタッフ間で方針を検討します。ADLや日中の過ごし方など、患者さん自身ができることは、可能な限りやっけていただきます。プログラムの表面には出てきませんが、これらも生活機能回復訓練の一環と言えます。

前述の3病棟に加え、精神科一般病棟および精神療養病棟を設け、それぞれの病棟機能に合わせて精神疾患の患者さんを受け入れます。

入院に関するご相談・お問い合わせは地域連携室までお願いいたします。

TEL 026-224-3961

## INFORMATION

### 建物名称 変更のお知らせ

新病棟開院に伴い、建物の名称が変更となりました。

公益財団法人 倉石地域振興財団



新設の病棟



別館A・B棟



旧本館



**P** 駐車場につきましては、従来の場所に加え、本館北側の駐車場（第1駐車場）もご利用いただけます。

児童・思春期デイケア わかば



## 専門外来の 拡充について

### 児童思春期外来

「やる気が出ない」「生きているのがつらい」「学校でいじめられている」「発達障害かもしれない」…当院では、お子さんの様々な悩み事に丁寧に対応しています。また、お子さんだけでなく、「子どもが学校に行かない」といったご家族の方の悩みのご相談も可能です。医師や看護師、公認心理師、精神保健福祉士など様々な職種が連携して、お一人では解決できない皆様のお困りごとに寄り添った対応を心がけています。新病棟では、児童専用の外来エリアを設け、お子さんが落ち着いて診察を受けられる体制を整えています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

診察日：毎週月・水～金 / 8時30分～17時

### 睡眠外来

「寝つきが悪い」「夜間に目が覚めてしまう」「日中眠気が強くて生活に支障が出ている」「いびきがうるさい」…など睡眠に関することでお困りの方に受診いただけます。当院の睡眠外来では日本睡眠学会専門医の資格をもつ医師が診察を行っており、診察時の問診や検査を通して適切な治療へと結び付けていきます。さらに、医師の診察により必要と判断された場合に終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）を行うことができる病室を入院病棟に設けています。症状が軽くても、睡眠の異常は体から出るSOSのサインかもしれません。気になることがありましたら、お早めにご相談ください。

診察日：毎週金曜日 / 8時30分～17時

### 物忘れ外来

急に物忘れをするようになった方、認知症症状が現れている方を早期に診断し、発症・進行の予防、治療等在宅で通常の生活が送れるように援助します。問診、認知症判定検査、CTやMRI、SPECTによる画像診断を行い、これらを総合的に判断し、薬物療法の適否、デイケア等の利用、周りの方へのアドバイスを行います。

診察日：毎週月・木曜日 / 8時30分～17時

### 依存症外来

「アルコール・薬物・ギャンブルがやめられないのは意志の弱さ?」「根性でアルコール・薬物・ギャンブルはやめられる?」と考えていませんか?

しかし、依存症とは病気であり、脳に影響を及ぼしているため、自分の意志で飲酒・薬物使用・ギャンブル行動などをコントロールすることができなくなっている状態なのです。そのため早い段階で受診し、医師による適切な治療を受けることが重要です。

当院は依存症専門外来を設け、アルコール依存症の方へは、酒害ミーティングや勉強会、外来プログラムを用意しています。薬物依存症やギャンブル依存症の方へは、公認心理師による個別の専門プログラムやカウンセリングを用意しています。気になることがありましたら、まずは当院にご相談ください。

診察日：毎週火曜日 / 8時30分～17時

### ストレスケア外来

2025年4月より、新たにストレスケア外来を開設しました。日常生活の様々な場面で強いストレスを感じることはありませんか?

「不安でたまらない」「眠れない」「イライラする」「何もやる気がでない」「身体的な原因がないのに、体調が悪い」などの症状に対して、ストレスの原因を探りながら治療を行います。さらに、一時的な休息を行うためのストレスケアの病室を入院病棟に設けております。日常生活を送る中でお悩みを抱えている方は、お早めにご相談ください。

診察日：毎週水曜日 / 8時30分～17時

各専門外来の受診には予約が必要となります。

初診予約・その他のお問い合わせ

TEL 026-224-3961

## 健診センターの 規模拡大について

新病棟開院に伴い、健診センターは新病棟2階へ移転しました。人間ドック専用ラウンジ、マンモグラフィ検査設備を新たに備えています。センターとしての規模も約3倍になり、各検査スペースや待合スペースも従来よりかなり広がっています。

センター内はシックで落ち着いた雰囲気になっており、

ゆったりと受診いただけます。旧健診センターにはマンモグラフィの設備が無く提携クリニックでの実施だったため、ご不便をお掛けしていましたが、この度移転に伴い、院内での実施が可能になったため、よりスムーズに受診いただけます。

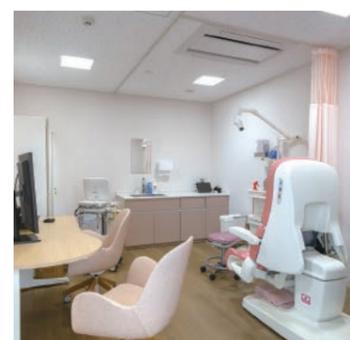
### 脳ドック開始のお知らせ

院内にMRIを導入したことに伴い、脳ドックを開始しました。当センターで健康診断・人間ドックを受診される方に関しては、オプション検査としての追加も可能です。

検査には事前予約が必須になりますので、お電話にてお問い合わせください。また、脳ドックを受診された方で精密検査が必要な方は、ご希望に応じて当院の認知症疾患医療センターにお繋ぎします。

### 婦人科検査室

ピンク色を基調とした、優しい雰囲気の中で安心して検査を受けていただける検査室になりました。女性医師が丁寧に対応します。(曜日により男性医師が対応する場合があります。)



健診時間 | 完全予約制  
月～金曜日 (祝休日休診)  
午前 8:00～ / 午後 13:30～

ご予約・お問い合わせ |  
お電話またはHP問い合わせフォームよりお願いいたします。  
☎ 0120-315-695  
TEL 026-226-0007



ドックメニュー	内容	料金 (税込)
日帰りドック	ほぼ全身を診るコースです。胃部検査は内視鏡を推奨します。各種オプションもご検討ください。	41,800円
レディースドック	日帰りドックに婦人科検査が付いたコースです。	51,700円
脳ドック	視力・聴力・採血・肺活量などの検査に加え、頭部MRI、MRAによる頭部・頭頸部画像検査、認知機能検査が付いたコースです。	47,300円
脳ドックライト	簡易採血の検査に加え、頭部MRI、MRAによる頭部・頭頸部画像検査、認知機能検査が付いたコースです。	29,700円

## 新たな医療機器の導入について

新病棟での診療を開始するにあたり、検査フロアではより多くの患者さんの身体への不安や悩みに対応するため、新たな医療機器を導入しました。

例としてSPECT検査、MRI検査、マンモグラフィ検査の装置が導入され、これまで実施されてこなかった検査がで

### SPECT 検査

SPECT検査とは、微量の放射線を放出する薬剤を注射し、体内から出てくる放射線を撮影し薬剤の分布を画像化する検査です。認知症に対する脳血流検査や、脳梗塞などの脳血管障害などの検査が可能です。当院では主に認知症の鑑別診断に使用します。

検査で用いられる検査薬から出る放射線は人体に害を及ぼす量ではなく、副作用の発生頻度は非常に低いとされています。



### デジタルマンモグラフィ検査

デジタルマンモグラフィ検査とは、乳房専用のX線(レントゲン)撮影で、乳がんの発見に優れた検査です。

乳房全体を均一に圧迫するため、従来に比べて痛みも少ないとされています。また、触診では分かりにくい小さな腫瘍や、早期乳がんのサインである石灰化を捉える高精細な画像を得ることができるため、乳がんの早期発見に優れています。

近年、日本人の乳がん患者数は年々増加しています。無症状のうちに受診すれば早期発見につながり、適切な治療によって治癒の可能性も高くなるため、定期的ながん検診をお勧めします。がん検診の詳細については健診センターまでお問い合わせください。

検査フロアは新病棟の2階になります。エスカレーターにてお進みください。



きるようになりました。

また、これらの新たな医療機器の導入により、健診センターでの人間ドックにもさらに力を入れています。受診者様のニーズに合わせた各種コースをご用意し、予防医療の体制を整えています。

### MRI 検査

MRI検査とは、強力な磁石の力を利用して体内の情報を画像化する検査で、縦・横・ななめの任意の断面で体内を観察することができます。CT検査やX線(レントゲン)検査、上記のSPECT検査とは異なり、放射線の被ばくが無いことがMRI検査の特徴です。また、造影剤を注射することなく血管を観察することが出来るため、患者さんへの負担が少なく脳卒中リスクや各部位の腫瘍の有無を的確に診断することができます。ただし、体内に金属があると検査できないことがあるため、注意が必要です。



## 新任医師紹介



### 副院長 矢崎 健彦先生

#### 資格

精神保健判定医/精神保健指定医/日本精神神経学会 精神科専門医・指導医

#### 所属学会

日本精神神経学会/日本総合病院精神医学会/信州公衆衛生学会

令和7年4月より、栗田病院の副院長として着任いたしました矢崎健彦と申します。当院には以前も医師として在籍しておりましたので、あらためてのご挨拶となります。この3月まで4年間は長野県職員として長野県精神保健福祉センターの所長を務めておりました。行政の立場からあらためて長野県の精神保健福祉の現状と、あり方について考える場面が多くありました。これからは

地域の皆様に直接還元できるよう努めてまいります。

4年ぶりに臨床の前線に戻り、同時に新しい病院、新しい電子カルテシステムなど、あらためて覚えることが沢山ありますが、皆様のこころの健康のためにお役に立てるよう、また地域の精神医療に貢献できますように尽力してまいります。何卒よろしくご願ひ申し上げます。



### 健診センター長 小松 ゆたか先生

#### 資格

医学博士/総合内科専門医/消化器病専門医・指導医/消化器内視鏡専門医・指導医/公認スポーツドクター/認定産業医

#### 所属学会

日本内科学会/日本臨床スポーツ医学会/日本消化器病学会/日本消化器内視鏡学会/日本胆道学会

2月の新病棟のオープンとともに健診センター長として着任いたしました小松ゆたかです。

出身は諏訪ですが幼いころは伊那で育ちました。1986年に信州大学を卒業後、東京の日本赤十字社医療センターで研修し、東京大学第二内科に入局、内視鏡を専門とする消化器内科医として長年勤務しました。2005年からは国立スポーツ科学センターで内科のスポーツドクターとしてオリンピック・パラリンピック選手を支え、5回のオリンピックや野球の

WBCなどにも帯同しました。

2012年「医療もスポーツも政治の力が必要だ」と一大決心をし、長野一区から立候補し衆議院議員を3期務めました。

様々な経験をさせていただきましたが、医療も政治も「みんなが心も体も元気で暮らす」という目標は同じです。

「元気と健康があれば何でもできる！」を合言葉に、皆さんと一緒に栗田病院、長野市の医療を盛り上げていきたいと思ひます。どうぞよろしくご願ひいたします。



### 精神科専攻医 1年目 吉田 真介先生

#### 資格

緩和ケア研修会修了/ECT 講習会修了

#### 所属学会

日本精神神経学会/日本神経精神薬理学会

令和7年4月より栗田病院精神科で勤務しております、吉田真介と申します。出身は東京ですが、信州の美しい自然に魅せられ、信州大学医学部に進学しました。学生時代は山岳部に所属し、厳冬期のアルプスにも挑むほど登山に熱中しておりました。現在でもキャンプや源流での釣りなど、アウトドアを楽しんでいます。

映画やアニメ鑑賞も趣味の一つで、特にSF作品や精神

科の視点から楽しめる作品を好んで観ています。また、海外の街をぶらぶらと散歩しながら写真を撮るのも好きな時間です。

これから皆様と力を合わせ、地域医療に貢献していければと考えております。何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、どうぞよろしくご願ひいたします。

#### 広報戦略委員会メンバー

- ◆委員長/外山 ◆副委員長/佐藤
- ◆委員/眞鍋・小田切・宮澤・小井戸・夏目・中條・青木・磯野・山口・酒井・徳竹・伊熊・宮崎・宮林・小林

# ACCESS

所在地／アクセス方法



## 所在地

〒380-0921 長野県長野市栗田 695

## 車でお越しの方

- 上信越自動車道「長野 IC」から約20分
- 上信越自動車道「須坂長野東 IC」から約20分

## 電車でお越しの方

- JR「長野駅」東口より徒歩約20分

## バスでお越しの方

- アルピコ交通 金井山線・東口線  
「森林管理局前・栗田病院前」下車

## 駐車場のご案内



**診療科目** 内科・心療内科・精神科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・老年精神科・児童思春期精神科・歯科・小児歯科

**診療時間** 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科 (月～金曜日 8:30～12:30 / 13:30～17:00)  
心療内科・精神科 (月～金曜日 8:30～12:30 / 13:30～17:00) (土曜日 8:30～12:30)  
専門外来 (月～金曜日 8:30～12:30 / 13:30～17:00)  
歯科・小児歯科 (月～金曜日 8:30～12:30 / 13:30～17:00) (土曜日 8:30～12:30) ※水曜日 午後休診

**休診日** 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科 土・日・祝休日  
心療内科・精神科・老年精神科・児童思春期精神科 土(午後)・日・祝休日  
歯科・小児歯科 水(午後)・土(午後)・日・祝休日  
健診センター 土・日・祝休日  
認知症疾患医療センター 土・日・祝休日

公益財団法人 倉石地域振興財団



〒380-0921 長野県長野市栗田 695  
TEL 026-226-1311 (代)  
FAX 026-224-8673

- 地域連携室直通 / TEL026-224-3961 ■ 人間ドック・健診予約 / ☎0120-315-695
- 歯科直通 / TEL026-269-0011 ■ 認知症疾患医療センター / TEL026-228-6666

お気軽にお問い合わせください



LINE



Facebook



Instagram



ホームページ

栗田病院 広報誌やすらぎ 第23号

令和7年10月1日発行 編集・発行／広報戦略委員会

